

ロボット相撲製作講習会 (ソフト編)

大阪電気通信大学 自由工房

目 標	ロボット相撲製作講習会ハード編で作ったロボットを使い実践的なプログラムを作り駆動させます。 初めてロボット相撲のプログラムを作る方を対象にプログラム言語、プログラムの作り方、プログラムの書き込み方、ロボットの駆動方法を行います。単に動かすだけでなく学校の教材にも活用出来るようにします。また、ロボット相撲大会に参加できるようにします。			
対 象 者	初めてロボット相撲を作る意欲のある方を対象にします。なるべくオープンセミナーロボット相撲製作講習会ハード編を受講して下さい。			
定 員	10名			
実 施 日	H21年7月27日(月), 28日(火), 29日(水) 3日間 9:30—17:00			
実施場所	〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18-8 大阪電気通信大学 Y号棟 5F 自由工房			
受 講 料	1万円			
使用機器	モータ:タミヤ380, マイコン:H8/3664F, ロボット:ハード編で作ったロボット			
日 程	内 容			
1日目午前	ロボット相撲の概要(ロボットの構成, 駆動回路, 制御回路, モータ, センサー) マイコンの概要(H8/3664F) プログラム開発の概要(環境説明、H8/3664F活用法、プログラム作成から書き込みまでの流れ)			
午後	マイコンの入出力プログラム (LED、スイッチを使用したプログラム作成) マイコンの時間作成 (タイマーを使用したプログラム作成)			
2日目午前	モータ駆動プログラム(モータ駆動プログラム) モータ駆動プログラム課題			
午後	センサ入力プログラム(光センサーによる入力プログラム) センサ入力プログラム課題			
3日目午前	ロボット相撲駆動プログラム作成 ロボット単体でのプログラム 対戦相手を想定してのプログラム			
午後	ロボット相撲駆動プログラム 試合形式による実践プログラム作成			
写 真	H8/3664Fマイコン	ROMライター	プログラム開発環境	今回使うロボット相撲
    注意:講習会で使う場合は、機能的に同じですが写真と多少異なる事があります。				
大会開催	今回作ったロボットで電通大杯(H22.1.30土 大阪電通大自由工房主催)に参加出来ます。			
注 意	作ったプログラムは持って帰る事が出来ますが インタフェース、マイコン、駆動部、センサー等は持って帰る事が出来ません。			
申込方法 問い合わせ	申込方法、問い合わせはメールでお願い致します。 詳細はホームページまたはメールで説明させていただきます。 http://www.osakac.ac.jp/jiyukobo/ jiyukobo@isc.osakac.ac.jp			